

2023年11月1日

駅に日用品プラスチック容器(※)回収ボックスを設置・リサイクルする取り組みにおいて、南町田グランベリーパーク駅に次ぐ二拠点目として、たまプラーザ駅への回収ボックス設置を開始

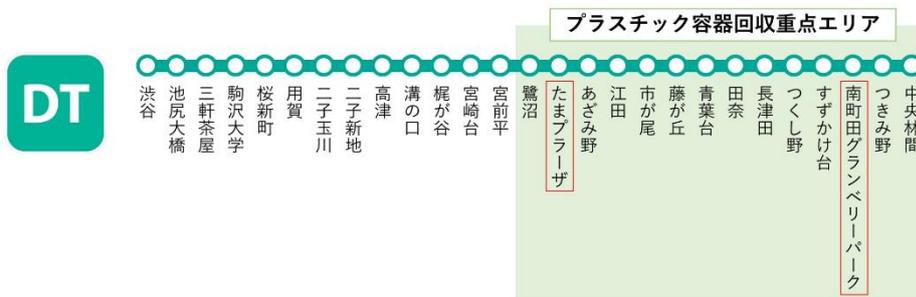
「UMILE(ユーマイル)プログラム」を推進するユニリーバ・ジャパンと東急電鉄が循環型社会を目指し、田園都市線から連携を強化

東急電鉄株式会社
ユニリーバ・ジャパン

東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)とユニリーバ・ジャパンが、プラスチックがごみにならない循環型社会を目指して実施している、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする取り組み(以下、本取り組み)において、すでに回収ボックス設置済みの南町田グランベリーパーク駅に次ぐ二拠点目として、2023年11月19日(日)から、たまプラーザ駅にも回収ボックスを設置します。

東急電鉄とユニリーバ・ジャパンは2022年3月28日から、毎日の暮らしの中でお得にエコ活ができるプログラムとしてユニリーバ・ジャパンが実施している「UMILE(ユーマイル)プログラム」(以下、本プログラム)での連携を開始しており、南町田グランベリーパーク駅にて、ご家庭で使用後に洗浄・乾燥したユニリーバ製品のプラスチック容器の回収・リサイクルを行ってきました。南町田グランベリーパーク駅でのプラスチック容器回収量は、全国的に見ても非常に高い数値となっています。また、回収したプラスチック容器の大半はご協力依頼通り、ご家庭できれいに洗浄・乾燥されており、使用済み容器を再資源化する活動に対する理解が深まっているものと思われます。

二社は南町田グランベリーパーク駅での実績を踏まえ、本取り組みを田園都市線に拡大することを目指し、まずはたまプラーザ駅にも回収ボックスを設置し、鷺沼駅～中央林間駅間をプラスチック容器回収重点エリアと定め、プラスチックリサイクル意識の浸透を図ります。



▲プラスチック容器回収重点エリア



▲回収ボックス

さらに、たまプラーザ駅へ回収ボックスを設置する2023年11月19日(日)には、たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」にてプラスチックリサイクルを体感できるイベント「海のキーホルダー作りワークショップ」を開催します。レジンジュエリーアーティストKaiolohia307氏・Cherry307氏が講師として参加し、本プログラムを通して回収されたシャンプーなどの使用済みプラスチック容器を洗浄・加工したのち粉碎してできたプラスチックチップを素材に、キーホルダー作りを行います。プラスチックをごみにせず、価値あるものへとリサイクルする過程を、楽しみながら体感いただけるイベントです。

二社は今後、鉄道事業を通じて幅広い顧客接点を持つ東急電鉄と、サステナブルなビジネスモデルの構築において国内外で豊かな経験やノウハウを持つユニリーバ・ジャパンの強みを生かし、田園都市線のプラスチック容器回収重点エリアにおける本取り組みの推進と、プラスチックリサイクル意識の浸透に取り組めます。

詳細は、別紙の通りです。

(※)ユニリーバ製品のプラスチック製のボトル、つめかえ製品(ヴァセリン、ジフ、ドメスト、レセナ、サジェ除く)

【別紙】

■本取り組み概要

○場 所: 田園都市線南町田グランベリーパーク駅改札内、たまプラーザ駅改札外

【たまプラーザ駅 回収ボックス設置場所】



○取り組みの経緯

- 2022年3月28日 南町田グランベリーパーク駅において、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験(以下、本実証実験)を開始
- 2022年11月1日 本実証実験を本運用化
- 2023年11月19日～ たまプラーザ駅に回収ボックスを設置

○実施内容: 「UMILE(ユーマイル)プログラム」を活用し、日用品の使用済みプラスチック容器を回収します。

○実施時間: 駅営業時間中(初電～終電まで)

○回収主体: ユニリーバ・ジャパン

○回収ボックスについて

東急電鉄の使用済み制服(駅係員用)を綿に戻したのち、ボード化し、回収ボックスを作成しています。

※廃棄せざるを得ない制服をプラスチック容器回収箱に再利用することで環境負荷低減に取り組んでいます。

ボードは、門倉貿易株式会社が繊維リサイクル率の向上を目指して、開発を行った100%繊維系廃材からできたリサイクル素材「リフモ」を使用しています。<http://www.kadoco.co.jp/rifmo/shikiita.html>



▲活用される東急電鉄制服イメージ



▲回収ボックス

■「UMILE(ユーマイル)プログラム」概要

UMILEプログラムは、毎日の暮らしの中で、お得に、楽しく「プラスチックは資源」が“あたりまえ”になる未来に向けたアクションをとれるプログラムで、2020年11月よりユニリーバ・ジャパンが開始したものです。このプログラムでは、ボトル製品に比べてプラスチックの使用量が約70～90%減らせるユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」、ご家庭で使用後に洗浄・乾燥した空のプラスチック容器をパートナー店舗の回収ボックスに入れて「リサイクルしてためる」の2つの方法で、「UMILE(ユーマイル)」というポイントをためられます。ためたUMILEは、LINEポイントに交換したり、子どもたちのために活動している団体に寄付できます(1UMILE=20LINEポイントまたは20円の寄付)。

詳しくはこちら：<https://www2.unilever.co.jp/umile/ecocp.html>

お得にエコ活! ユーマイル UMILEプログラム!

カンタン3Step!

- 1 公式サイトにアクセス! (QRコード)
- 2 きれいに洗って乾かして つめかえを使う または 空き容器を回収
- 3 リサイクルグッズ LINEポイント 寄付

1UMILE (1ユーマイル) = 20円相当

※LINEポイントに交換or寄付の場合

ユニリーバ UMILE 応募は写真を撮って送るだけ! UMILEを使って交換・寄付!

■イベント概要

- 名称 : 海のキーホルダー作りワークショップ
～回収したプラスチックが生まれ変わる!～
- 開催日時 : 2023年11月19日(日)10時30分～16時30分のうち
10時30分、11時30分、13時30分、14時30分、15時30分の5回開催
所要時間:約30分
- 受付時間 : 10時30分、11時30分の回は10時30分受付開始
13時30分、14時30分、15時30分の回は13時30分に受付開始
会場受付にて整理券を配布いたします。
- 参加人数 : 各回先着6名様
- 場所 : たまプラーザテラス ゲートプラザ2階 サークルコート
(屋内にて開催のため、雨天決行)
- 参加費 : 1000円(税込)
- その他
 - ・対象年齢は小学生以上となります。
 - ・小学3年生以下の方は保護者の方の見守りをお願いいたします。
 - ・参加人数には限りがございますので、受付時間に合わせてお越しください。
 - ・たまプラーザテラスの駐車券認証サービスは対象外となります。



▲使い終わったダウやラックスのボトル、つめかえ用のパッケージを駅で回収。
洗浄・加工してプラスチックチップに。それを素材に海をイメージしたキーホルダーをつくれます。

■東急電鉄 いい街 いい電車 プロジェクトの概要

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみならず近くで良い関係「近イイ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

<取り組み事例>

with♡(ウィズ・ハート)

「with♡(ウィズ・ハート)」とは、「ココロでまちを、サステナブルに。」というコンセプトのもと一人ひとりが自分らしく暮らせるまちがずっと続くように、環境活動などを広めていくアクションです。



■ユニリーバのプラスチックへの取り組み

ユニリーバは、2019年から世界共通の成長戦略「ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン」(USLP)の一環として、プラスチックの使用量削減に取り組んできました。さらに2019年10月には、製品をつくるだけでなく、使い終わった後のことにも企業として責任を持ちたいという思いから、従来の目標を拡充し、2025年までの3つの目標を発表。世界規模の消費財メーカーとして初めて、プラスチックの使用量を絶対量で10万トン以上削減することを約束しました。

現在は、USLPの後継プランである「ユニリーバ・コンパス」の下、世界中で「Less Plastic」(パッケージの軽量化、つめかえ用の発売等によりプラスチックの使用量を減らす)、「Better Plastic」(リサイクルしやすい素材や再生プラスチック、植物性プラスチック等、より環境負荷の少ないプラスチックに替える)、「No Plastic」(紙・金属・ガラス等に替える)の3つのアプローチを組み合わせることで、環境負荷を最小にしなが、プラスチックを大切な資源として活用できるようにしています。また、社外のパートナーとともに、使用済みパッケージの分別回収・リサイクルのための仕組みづくりや、水平リサイクル技術の検証等も進めています。詳しくはユニリーバ・ジャパンのサイトをご覧ください：

<https://www.unilever.co.jp/planet-and-society/approach-to-plastic/>

以 上